

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	利用者の身体、認知能力状況など考えると、だんだんと難しい面もあるが、出来る範囲で実際の災害場面を想定したより具体的な避難訓練を実施し、記録に残し課題の把握に努めた取り組みが必要と考える。	全職員が防災訓練の必要性を身体で感じる為にも出来るだけ多く参加し、危機感を持って取り組む。 マニュアルをしっかりと確認し、防災訓練に参加する。	・地震時、火災時の対応マニュアルを職員間で共有出来るようにしておく。 ・いろいろな災害場面を想定し、より具体的な避難訓練を行い、実施記録、結果報告記録を残し、次の災害訓練へのステップアップを図る。 ・運営推進会議などで、近隣住民との交流を図り、協力が得られるような関係づくりに努める。	12ヶ月
2	26	カンファレンスにて利用者担当を中心にケアカンファレンスにてモニタリングの見直しを実施しているが、介護記録での精神面についての情報がくみ取り難いので、日々の介護記録の書き方の見直しを図り、介護計画にも繋がるようにする。	利用者様その人らしくホームでの生活に満足が得られるようにする。 職員の記録の大切さ、ケアプランに対する意識レベルの向上を図る。	・日々の個人記録内容の充実を図る為、カンファレンスにて話し合い、改めて記録の大切さを認識する。 ・日々の個人記録を出来るだけ利用者の「生の声、つぶやき、しぐさ」等記録に残し、介護計画につなげる。 ・職員間で共有できる記録とする。 ・ご家族面会時、意向、思いが引き出せる信頼関係となんでも話せる環境作りに努める。	12ヶ月
3	18	地域行事、季節行事、イベントには参加しているが、外出支援はまだ薄い。 職員の都合や業務を優先している面がある。	利用者本位の過ごし方の構築。 職員の動きと業務の流れの見直し。	・業務時間配分と職員の動きを考え、利用者との関わりを増やし、出来るだけ外の空気に触れ、又、季節を感じられるよう施設周りの散歩等が出来るように努める。 ・ご家族の理解と協力を得て、利用者にとって大切な時間を過ごして頂けるようなアプローチに努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。